

No.	1320-050	事務事業名	選挙啓発事業				所属部	
						所属課	選挙管理委員会	
政策体系	政策名					課長名	山下 英博	
	施策名					所属G(係)	選挙グループ	
	基本事業名					電話番号	42-1143	
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	04	02		その他選挙啓発費	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市に[明るい選挙推進協議会]を設置し、選挙時及び常時啓発活動を行う。市の明るい選挙推進協議会の構成員については、市内7地区から2名ずつの14名で構成。市選挙管理委員会委員とも連携をとり、活動を行う。 具体的な啓発活動 選挙時における街頭啓発活動を行う。 本庁及び各総合支所への啓発パンフレット等の設置を行う。 新成人者へチラシや記念品を配る。 市内小・中学生・高校生を対象に啓発ポスター募集を行う		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 27 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)
--	--	---

1 現状把握の部 (DO) (1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等有権者(選挙人) 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 有権者の選挙(投票)に対する意識が高まり、投票に行くようになる。 結果(どんな結果に結び付けるのか)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 啓発パンフレット等の設置回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 新成人へのチラシ・記念品の配布数</td><td>個</td></tr> <tr><td>ウ 啓発ポスターの応募数</td><td>人</td></tr> </table> 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 選挙人名簿登録者</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 新成人</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ 小・中学生・高校生</td><td>人</td></tr> </table> 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 平均投票率</td><td>%</td></tr> </table> 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> </table>	名称	単位	ア 啓発パンフレット等の設置回数	回	イ 新成人へのチラシ・記念品の配布数	個	ウ 啓発ポスターの応募数	人	名称	単位	ア 選挙人名簿登録者	人	イ 新成人	人	ウ 小・中学生・高校生	人	名称	単位	ア 平均投票率	%	名称	単位
名称	単位																							
ア 啓発パンフレット等の設置回数	回																							
イ 新成人へのチラシ・記念品の配布数	個																							
ウ 啓発ポスターの応募数	人																							
名称	単位																							
ア 選挙人名簿登録者	人																							
イ 新成人	人																							
ウ 小・中学生・高校生	人																							
名称	単位																							
ア 平均投票率	%																							
名称	単位																							

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	581	544	504	488		
		事業費計(A)	千円	581	544	504	488		
活動指標	ア	回	5	8	8	8			
	イ	個	1,400	1,400	1,400	1,400			
	ウ	人	22	30	15	30			
対象指標	ア	人	99,863	100,669	100,969	101,500			
	イ	人	1,912	2,052	1,945	2,000			
	ウ	人	15,757	15,606	16,328	15,500			
成果指標	ア	%		57	36	80			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア								
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 投票を行う人が買収などに惑わされず、情実・利害などにとらわれることなく、自由な意思で投票し、選挙が公正に行われて、選挙人の意思が政治に正しく反映される選挙を推進するために、[明るい選挙推進運動]として、昭和27年から開始された。 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 期日前投票制度の創設、不在者投票の対象者拡大、在外選挙の帰国投票の創設など公職選挙法は毎年のように改正されており、有権者への周知・啓発が必要である。 この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	
--	--

事務事業名	選挙啓発事業	所属部	所属課	選挙管理委員会
-------	--------	-----	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 各種選挙の投票率の低下、若年層の選挙離れを防ぐためにも、選挙時の啓発活動や児童・学生といった選挙権をもたない年代への啓発活動は不可欠であるため、事務事業として妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 児童・生徒及び有権者と幅広い年代を対象としているため、対象については適当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 各種選挙の投票率の低下については、啓発活動不足だけが要因ではないが、常時啓発及び選挙権を持たない年代への啓発活動を更に行うことにより、成果の向上の余地は限りなくある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 投票率の低下が更に進み、有権者の意見を政治に反映することが出来なくなる。若年層の選挙離れが加速する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 投票率の低下、若年層の選挙離れを防ぐためには、他に手段はないが、教育委員会とも連携を密にしていくなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 必要最小限の事業費で啓発事業を行っているため、削減の必要はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 必要最小限の業務時間で啓発事業を行っているため、削減の必要はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ ・常時啓発については、有権者全体が対象であるので公平・公正である。 ・新成人への啓発については、成人式への参加者しかチラシや記念品を配っていないので、公平とはいえない。 ・啓発ポスター募集については、市内全小・中学校、高等学校へ募集しているため公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>これまでの結果として、各種選挙において投票率は年々低下している状況である。有権者だけに限定せず市民全体に選挙啓発を行う必要がある。啓発方法について、再度検討する必要がある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <p><改革改善案> 有効性・・・選挙時のみの啓発、パンフレット・チラシ配布といったマンネリ化した啓発活動だけではなく、市民全体を対象とした市独自の常時啓発活動を行い、投票率の低下・選挙離れを防ぐ。 公平性・・・新成人へのチラシ・記念品配布について、参加者のみの配布だけではなく、すべての新成人への啓発活動を行う。(選挙権が発生したお知らせのハガキを郵送する等)</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
・市明い選挙推進協議会、市選挙管理委員会が一体となって取り組む必要がある。 ・新成人や児童、生徒への啓発活動については、教育委員会とも連携を図る。																						